

2017（H29 シカ年度）エゾシカ捕獲結果（隣接地域）（速報）

<全体>

- ・隣接地域で合計 76 頭（オス成獣 8 頭、メス成獣 26 頭、0 歳 42 頭）を捕獲。
（速報値：2018 年 5 月 7 日時点）
- ・冬季事業で 61 頭、林野庁職員実行で 1 頭、春季事業で 14 頭（速報値）を捕獲。

表 5-1-2-1. 2017（H29）シカ年度の隣接地域におけるエゾシカ捕獲結果（速報）

地区名	時期	手法	捕獲結果(頭)				小計	備考
			メス1歳以上	比率(%)	オス1歳以上	0歳(メス/オス)		
宇登呂 (S07)	12-3月	囲いわな(ウトロ東)	4	36.4	0	7 (2/5)	11	
	4月上旬	同上	0	0	0	0	0	
	12-3月	囲いわな(ウトロキャンプ場)	1	20.0	0	4 (1/3)	5	
	3月末	同上	0	0	0	1 (1/0)	1	自動捕獲装置使用
	4月上旬	同上	0	0	0	0	0	
	12-3月	囲いわな(弁財崎)	0	0	0	9 (5/4)	9	
	3月末	同上	0	0	0	0	0	
	4-5月	同上	0	0	0	0	0	
地区別 小計			5	19.2	0	21 (9/12)	26	
遠音別 (S08)	12-3月	囲いわな(オシンコシン1)	0	0	0	1 (0/1)	1	
	4-5月	同上	2	50.0	1	1 (1/0)	4	
	12-3月	囲いわな(オシンコシン2)	2	28.6	1	4 (1/3)	7	自動捕獲装置使用
	3月末	同上	0	0	0	0	0	
	4-5月	同上	2	50.0	0	2 (0/2)	4	
	3月中旬	巻き狩り(オンネベツ川)	1	25.0	3	0	4	1回実施、19名
地区別 小計			7	35.0	5	8 (2/6)	20	
真鯉 (S10)	2-3月	囲いわな(マコイ沢)	0	0	0	0	0	自動捕獲装置使用
	4-5月	同上	4	66.7	0	2 (1/1)	6	
	2-3月	箱わな(金山川)	1	20.0	1	3 (2/1)	5	6基使用
	3月中旬	巻き狩り(金山川)	2	66.7	0	1 (1/0)	3	1回実施、18名
	地区別 小計			7	50.0	1	6 (4/2)	14
※斜里町側 合計			19	31.7	6	35 (15/20)	60	
春荻古丹 (R20)	12-3月	囲いわな(春荻古丹1)	4	44.4	1	4	9	自動捕獲装置使用
	12-3月	箱わな(春荻古丹2)	3	42.9	1	3 (2/1)	7	3基使用
	地区別 小計			7	43.8	2	7 (2/1/不明4)	16
総計			26	34.2	8	42 (17/21/不明4)	76	

値)

1) 宇登呂(ウトロ)地区 (モニタリングユニット S07)

- ・林野庁事業開始から 5 シーズン目。
- ・囲いわなによる捕獲をウトロ東、ウトロキャンプ場、弁財崎の 3 箇所で開催
（弁財崎は捕獲を継続中（5 月末までを予定））。
- ・計 26 頭（オス成獣 0 頭、メス成獣 5 頭、0 歳 21 頭）（速報値）を捕獲。

H29 シカ年度実行計画目標値（70 頭）未達成

表 5-1-2-2. 2013 (H25)-2017 (H29) シカ年度の宇登呂地区における捕獲頭数及び捕獲効率 (速報値)

シカ年度	ウトロ東		ウトロキャンプ場		弁財崎	
	捕獲頭数 (頭)	捕獲効率 (頭/日)	捕獲頭数 (頭)	捕獲効率 (頭/日)	捕獲頭数 (頭)	捕獲効率 (頭/日)
H25			41	0.46		
H26			17	0.57		
H27			26	0.50	51	0.64
H28	19	0.21	10	0.19	15	0.19
H29	11	0.18	6	0.07	9	0.10

捕獲効率＝捕獲頭数/わな稼働日数

1-1) 課題等

- ・捕獲頭数、捕獲効率ともに減少している。5年間捕獲を継続・拡大したことにより、この地区の生息密度が低下したと考える。また、囲いわなへの警戒心が強い個体が多いと考えられる。

2) 遠音別地区 (モニタリングユニット S08)

- ・林野庁事業開始から4シーズン目。
- ・囲いわなによる捕獲をオシンコシン崎1、オシンコシン崎2の2箇所で開催 (捕獲を継続中 (5月末までを予定))。
- ・巻狩りによる捕獲を遠音別川で実施。
- ・計20頭 (オス成獣5頭、メス成獣7頭、0歳8頭) を捕獲。

H29 シカ年度実行計画目標値 (50 頭) 未達成

表 5-1-2-3. 2014 (H26)-2017 (H29) シカ年度の遠音別地区における捕獲頭数及び捕獲効率 (速報値)

シカ年度	オシンコシン1		オシンコシン2		遠音別川巻狩り
	捕獲頭数	捕獲効率	捕獲頭数	捕獲効率	捕獲頭数
H26	41	0.72			
H27	34	0.44	35	0.81	8
H28	14	0.17	15	0.29	
H29	5	0.06	11	0.12	4

2-1) 課題等

- ・ 囲いわなの捕獲頭数、捕獲効率は減少しており、この地区の生息密度が低下したと考える。また、わなへの警戒心が強い個体が多いと考えられる。
- ・ 巻狩りは、わなへの警戒心が強い個体の捕獲方法の一つとして考えられるが、可猟区での捕獲数が減少している中で地域の狩猟者等との調整が必要である。

3) 真鯉地区 (モニタリングユニット S10)

- ・ 林野庁事業開始から4シーズン目。
- ・ 囲いわなによる捕獲をマコイ沢の1箇所を実施。
- ・ 箱わなによる捕獲を金山川沿いの3基で実施。
- ・ 巻狩りによる捕獲を金山川で実施。
- ・ 計14頭 (オス成獣1頭、メス成獣7頭、0歳6頭) を捕獲。
H29 シカ年度実行計画目標値 (40頭) 未達成

表 5-1-2-4. 2014 (H26) -2017 (H29) シカ年度の真鯉地区における捕獲頭数及び捕獲効率 (速報値)

シカ年度	マコイ沢		金山川箱わな		金山川巻狩り
	捕獲頭数	捕獲効率	捕獲頭数	捕獲効率	捕獲頭数
H26	0	0.00	2	0.17	
H27	休止		12	0.52	7
H28	1	0.06	10	0.24	
H29	6	0.13	5	0.50	3

3-1) 課題等

- ・ 囲いわなの捕獲頭数、捕獲効率は増加した。特に3月までは捕獲がなかったが4月に捕獲されたため、この地区では春季の捕獲が適している可能性がある。
- ・ 巻狩りは、わなへの警戒心が強い個体の捕獲方法の一つとして考えられるが、可猟区での捕獲数が減少している中で地域の狩猟者等との調整が必要である。

4) 春荊古丹地区 (モニタリングユニット R20)

- ・ 林野庁事業開始から4シーズン目 (2013-2016 シカ年度は休止)。
- ・ 囲いわなによる捕獲を春荊古丹1の1箇所を実施。
- ・ 箱わなによる捕獲を春荊古丹川沿いの3基で実施。
- ・ 計16頭 (オス成獣2頭、メス成獣7頭、0歳7頭) を捕獲。

H29 シカ年度実行計画目標値（50 頭）未達成

表 5-1-2-5. 2010 (H22)-2017 (H29) シカ年度の春苺古丹地区における捕獲頭数及び捕獲効率（速報値）

シカ年度	春苺古丹1		春苺古丹2箱わな	
	捕獲頭数	捕獲効率	捕獲頭数	捕獲効率
H22	4	0.05		
H23	96		1.32	
H24	56		0.79	
H25	実施せず			
H26	同上			
H27	同上			
H28	同上			
H29	9		0.14	7 0.11

4-1) 課題等

- ・捕獲数が平成 23、24 シカ年度と比べて少なかった原因として、積雪が少なかったことと警戒心の強い個体が多いことが考えられる。
- ・箱わなが重いため、臨機応変な移設が困難であった。
- ・羅臼町内の利活用施設の受け入れ可能数が少ないため、廃棄が発生しやすい。



図 5-1-2-2. 2018(H29)シカ年度 知床世界自然遺産隣接地域（斜里町側）エゾシカ捕獲実施箇所位置図



図 5-1-2-3. 2018(H29)シカ年度 知床世界自然遺産隣接地域（羅臼町側）エゾシカ捕獲実施箇所位置図